

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年07月28日

計画の名称	大分の広域交流を支えるアクセス道路等の整備（交通拠点連携集中支援）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大分県												
計画の目標	大分県における空港・港湾等の交通拠点へのアクセス道路等を整備することにより、人流、物流の効率化など生産性向上を支援する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,302	A	1,302	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	大分空港の平成26年度～平成28年度の平均貨物取扱量 約7,700トンを維持する（平成23年度～平成25年度の平均貨物取扱量約7,900トンから減少傾向） 大分空港の平均貨物取扱量等 （大分空港の直近3ヶ年平均貨物取扱量の増加率）（%）=（ 評価時点の大分空港の直近3ヶ年平均貨物取扱量 - H29時点の大分空港の直近3ヶ年平均貨物取扱量 ） / （ H29時点の大分空港の直近3ヶ年平均貨物取扱量 ）	7700トン	トン	7700トン

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	大分県	直接	大分県	都道府 県道	改築	(一)系原杵築線・大分 空港道路工区	現道拡幅 L=2.7km	国東市・杵築市						1,302		-
平成30年度～平成31年度国債設定(予定)																			
											小計						1,302		
											合計						1,302		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

計画策定主体である大分県土木建築部道路建設課において評価を実施した。

事後評価の実施時期

令和4年3月

公表の方法

大分県ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

交通拠点である大分空港へのアクセス道路の整備により、物流の効率化に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

走行性、安全性、定時性の向上が図られた。

特記事項（今後の方針等）

- ・事業が完了したため、今回事後評価を実施。
- ・本計画については完了

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	H26～H28の平均貨物取扱量約7,700トンを維持	
	最終目標値	7700トン
	最終実績値	5417トン
		道路整備は着実に実施されたものの、新型コロナウイルスの影響などにより、旅客便が減少し、積載される貨物輸送量が大きく減少したためと考えられる。